

CYBEX

CYBEX: 仮想通貨の分散型取引所

ホワイトペーパー
version 1.0

CYBEX チームより

www.CYBEX.io

t.me/joinchat/Gmz68Q765Lel-foT_QF3IQ

medium.com/@CYBEXexchange

ABSTRACT 摘要

CYBEX は、現在市場に存在する中央集中型取引場よりも透明性があり安全な暗号資産の流動性を向上させることを目指す分散型取引所です。そのコアは、非常に効率的で安全な Graphene Blockchain Library をベースにしており、ステークコンセンサススキームの証明を受け、毎秒 100,000 件以上の取引を可能にしています。取引所はローンチ時にクロスチェーン取引を促進するためのアトミックスワップや、暗号資産管理のセキュリティを確保するゲートウェイのためのハードウェア多重署名保管、組込みの ICO 起動プラットフォームおよび分散型 ICO を促進するためのテンプレート、トレーディングの際のボラティリティリスクを最小限に抑える安定な通貨、そして事業開発やオペレーションの取引実績を持っているコアチームなどの重要要素を備えています。

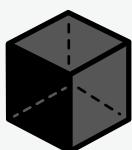
TABLE OF CONTENTS

1.	集中化問題	3
2.	分散型取引所	4
2.1	CYB トーケン	5
2.2	証人	5
2.3	委員会	5
2.4	金額の委任証明	5
2.5	投票	6
2.6	予算	6
3.	主な機能	7
3.1	アトミックスワップ	7
3.1.1	なぜアトミックスワップ?	7
3.1.2	CYBEX におけるアトミックスワップ	8
3.1.3	動作詳細	9
3.1.4	流動性の促進	10
3.2	暗号資産保管のゲートウェイ	10
3.2.1	ゲートウェイ	10
3.2.2	ホットウォレット	11
3.2.3	コールドウォレット	11
3.3	分散型クラウドセールプラットフォーム	13
3.4	価格安定通貨	14
3.4.1	暗号資産のボラティリティ	14
3.4.2	担保としての Bitcoin	15
3.4.3	インタレストインセンティブ	15
3.5	モバイルユーザーインターフェイス	16
3.6	ビジネス開発	17
3.7	実体経済のトーケン化	18
4.	開発ロードマップ	19
5.	CYBEX チーム	20
5.1	コアチーム	20
5.2	アドバイザー	21
6.	リスク	22

1. THE CENTRALIZATION PROBLEM

集中化問題

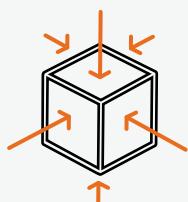
暗号通貨とその基盤にあるblockchain技術のポテンシャルへの市場の関心に伴い、バリュエーションや多様性が急激な上昇しています。この執筆時点では、CoinDeskによると、200種類以上のICOの累計発行額は38億米ドルに達しており、しかもこれは恐らく市場全体の一部にしか過ぎない。現在取引されているほとんどの暗号資産は、以下の多数の課題に直面している中央集中型取引プラットフォーム上で行われており



- **不透明性**：ブラックボックスで運用されている中央集中型プラットフォームは、投資家にとって情報の非対称性を利用したプラットフォーム運営者の餌食となるリスクが絶えずあります。価格操作、投資家資金の不適切利用などの不正行為が懸念されます。



- **流動性不足**：ほとんどの ICO が立ち上げるプロジェクトは、未完了もしくは未熟で、実際に投資家に配布されるユーティリティトークンではなく、IOU を発行して後日にトークンを発行するという約束をしています。これらの IOU は流動性が制限されている場合が多く、最初に ICO を発行したプラットフォームでの取引に限定されるか、法外な手数料を支払い集中型取引所での取引になります（例え提供されることあっても）。



- **不安定**：中央集中型プラットフォームは、DDoS 攻撃に非常に弱い。取引に重大な混乱を招くだけでなく、プロセスと ICO モデル全体に対する投資家の信頼を失う可能性があります。彼らはまた、悪質なハッカーにとっては最高なターゲットであります。（MT.Gox、Bitstamp、Bitfinex、DAO、CoinDash …などなど）。

中国政府が 2017 年 9 月に ICO を禁止する前では、CYBEX チームは ICOAGE チームであり、中国で最大の ICO プラットフォームを運営していました。ICOAGE は 6 ヶ月間、TenX、Status、iEx.ec、EOS、Otum、Storj などのプラットフォーム上の 40 以上のプロジェクトに対して、1 億 7 千万米ドル以上の資金調達を達成しました。

ICOAGE は集中型の ICO プラットフォームと IOU 取引所として、多数の DDoS 攻撃を受け 1 回平均 120GB の攻撃を受けたが、幸いにも万全なセキュリティ対策によってユーザーに損害は発生いません。しかし、このような攻撃の頻度と規模に抵抗するため、分散型取引所の構築を開始した。

2. CYBEX: A DECENTRALIZED EXCHANGE

分散型取引所

CYBEX は、よく知られている BitShares とその基盤となる Graphene Blockchain ライブライ (大規模なアプリケーションのエコシステムを生み出した) から構築され、拡張されたデジタル資産の真の分散型取引所です。



EOS が BitShare の後継者としてローンチ後、CYBEX は基盤技術を EOS に移行します。CYBEX はより安全、より効率的、使いやすいトランザクション・エクスペリエンスを実現するデザインになっています。そのため、チームはプロトコルとアプリケーション層の革新に焦点を当て、商業的な専門性から、取引所の健全運用を保証しています。これらのコア機能はセクション 3 に詳しく説明しております。以下は CYBEX のエコシステムにおける主要概念の簡単な説明です。

2.1 CYBトーケン

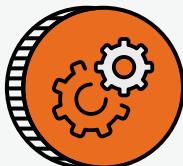
CYBEX ネットワークでは、基本トーケンは CYB と呼ばれます。それは $105 = 100,000$ のサブユニットに分割できます。CYB トーケンは価値を持っており、ブロックチェーン上で転送することができ、楕円曲線デジタル署名アルゴリズム (ECDSA) によって曲線 secp256k1 で保護されます。ほとんどの暗号通貨とは対照的に、CYB は通貨自体ではなく、以下のコア機能を持っています。



- ・ **参加権:** CYB は、CYBEX のエコシステムの燃料であり、ステークの証拠としてトーケンに結びついた全てのコア権利と特権を有し、その結果エコシステムに参加し、投票し、貢献する権利があります。



- ・ **取引所の媒体:** CYB は、CYBEX エコシステムにおける取引交換の基礎となる媒体であり、すべての手数料は CYB で表示されます。



- ・ **機能性:** CYB は、取引所上のすべての金融商品（価格安定資産など）を実現するために使用されます。

2.2 証人

証人はトランザクションを収集し、ブロックにまとめ、ネットワークに散布し、Bitcoin のマイナーのような機能をもっています。ただ CYBEX のコンセンサスアルゴリズムが、Bitcoin のように作業の証拠 (PoW) ではなく、ステーク (DPOS) の委任証拠であります。

ブロックごとのバンドルが成功され、証人は指定の資金プールから支払いを受け取ります。資金プールの規模と支払い額は、エコシステム参加者の投票により決められます。

2.3 委員会

委員会は、CYBEX のエコシステム内部の仕組みを統治する選ばれた機関です。CYBEX が立ち上げられた後、役割、商品、手数料、予算などを含むエコシステムの運用はすべて委員会によって決定されます。

2.4 ステークの委任証拠

Bitcoin の POW コンセンサスと比較し、ステーク (DPOS) の委任証拠は POW による高コストと非効率性を避けるための仕組みです。

エコシステム内の各ユーザーは、任意の数のノードに賛成票を投じることができます。いずれかのノードが投票総数の 1% 以上（エコシステム全体のステークのうち）に達すると、ブロックを生成するの証人になります。かつ、貢献への支払いを受取ります。アクティブ証人の候補者名簿は、投票が集計されるメンテナンス間隔（1 日）ごとに 1 回更新されます。

各証人は交代してブロックを作ります。各証人が 1 ラウンドでブロックを作る順番（もしくはスケジュール）は決まっており、トランザクションは平均 1 秒以内に確認されます。すべての証人が 1 ラウンドを終えた後、順番は入れ替えられ、別のラウンドが新たに始まります。証人が時間内にブロックを生成しない場合、その時間枠はスキップされ、次の証人が次のブロックを作る事になります。

証人は、異なる物理マシン / 場所で引き継ぐために複数の実体を持つことができます。それは DDoS 攻撃のベクトルを緩和するはずです。証人の誰もブロックを作成できなかった場合、ネットワークは停止し、ユーザーは新しい証人に投票(トランザクション)をできなくなります。それが起こる可能性は非常に小さく、ステークホルダーは投票を通じて証人数を増やすことができます。

2.5 投票

ユーザーは、単に証人を選択するだけでなく、CYBEX エコシステムの運用のほとんどの決定に投票することができます。料金表からブロック間隔、取引サイズまで、全てのネットワークパラメーターは投票で調整できます。

ユーザーは代理投票もできます。これは、エコシステムのすべての人が、時間がない場合や、単一の問題を重視しない場合でも投票に参加できるようにしています。

2.6 予算

CYBEX には、エコシステムの参加者(例: 証人)が実行する様々なタスクに支払いを行うため予算プールがあります。プールは CYBEX の立ち上げ時に準備され、その後のすべての予算配分、タスク、および関連する料金体系は、投票で決定されます。

CYBEX 内では、課金されるすべての取引手数料の 50%がトークンとして破棄されます。このように CYB トークンの全体的な供給が減少し、残りトークンの価値が引き上げられます。



3. KEY CAPABILITIES

主な機能

BitShares は、構想および基盤技術において非常に革新的でしたが、暗号資産の取引で広く採用されたプラットフォームではありませんでした。

改善策としてプロトコル層でのイノベーションによりシンプルで安全なトランザクションを促進し、ユーザー体験向上させるためのアプリケーション層に革新をもたらした、そして商用および運用上の専門性を注入することによって、分散型取引所の採用を大幅に増強することができると確信しています。

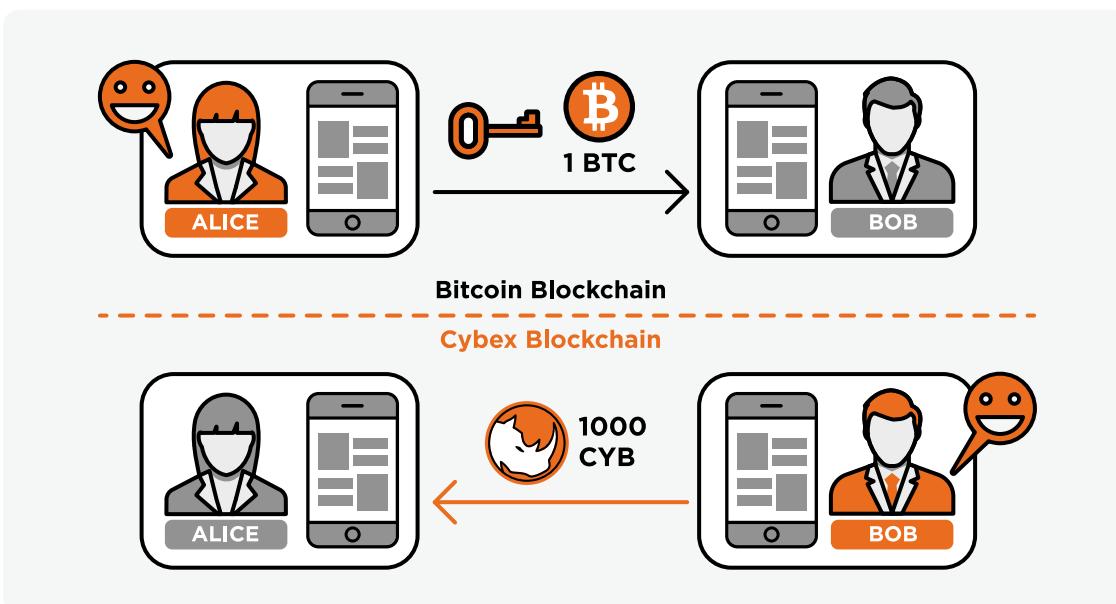
そのため、CYBEX は以下の一連の改良点と機能を提供しています。

- ・アトミックスワップ
- ・ゲートウェイ用の暗号資産の保管
- ・分散型ICOプラットフォーム
- ・価格安定通貨
- ・モバイルユーザーインターフェイス
- ・メインストリートビジネスのトークン化
- ・ビジネス開発

3.1 アトミックスワップ

3.1.1 なぜアトミックスワップ?

アトミックスワップ(アトミッククロスチェーントレード)とは、サードパーティを信頼する必要なく、ある暗号通貨と別の暗号通貨との直接交換行為です。

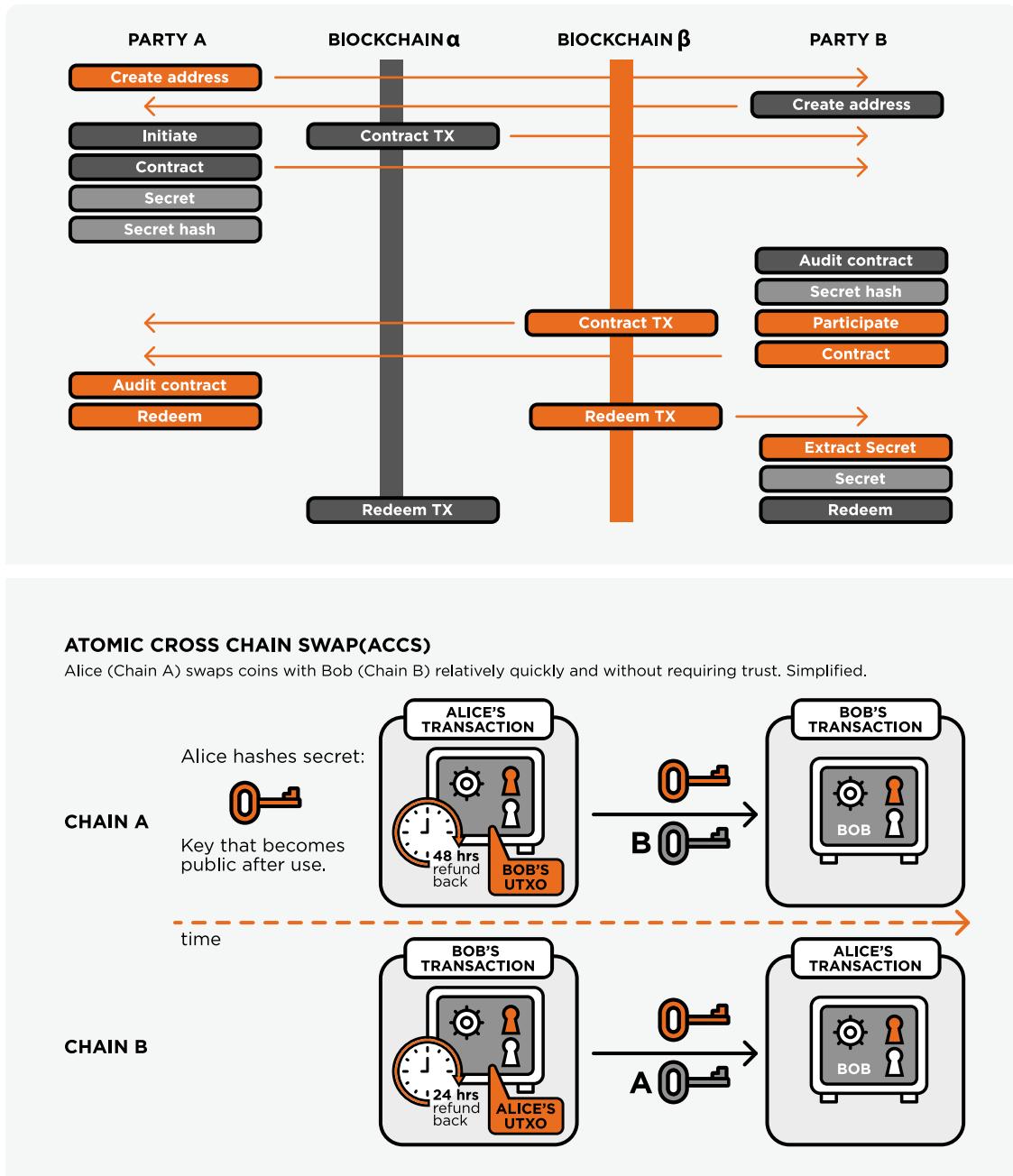


たとえば、アリスは Bitcoin を Bob の Bitcoin アドレスに送り、同時に Bob は CYB をアリスの最初の CYB アドレスに送ります。しかし、2 つのブロックチェーンは異なるものであり、一度確認すると取引は元に戻せないため、このスワッププロセスは取引相手のデフォルトの危険にさらします。例えば、取引期日に支払いができないこと等があります。過去に最も一般的に見受けられた解決策は、エスクローサービスを提供するため互いに信頼している第三者（例えば、集中型取引所）を導入することであったが、これまで述べてきたように、そのような集中型取引所は信頼することが難しいです。アトミッククロスチェーンスワップは、第三者を必要とせずにこの問題を解決します。

3.12 CYBEX におけるアトミックスワップ

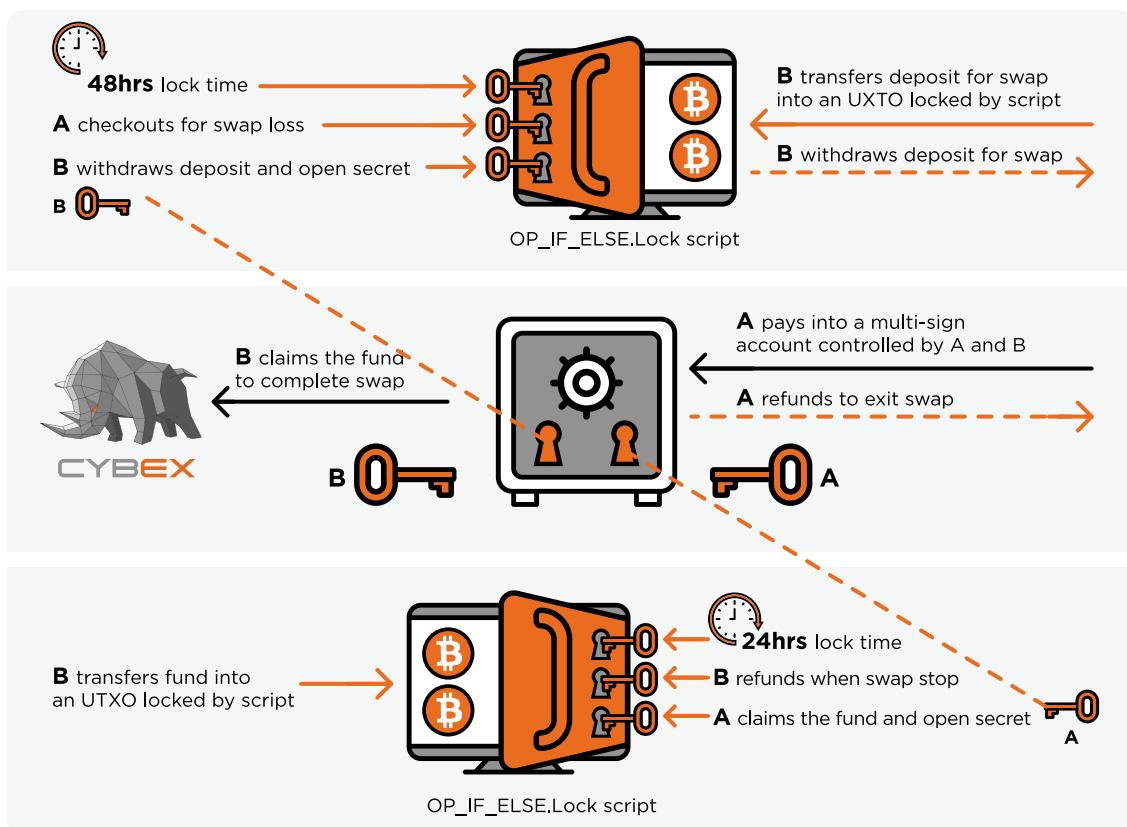
CYBEX と Bitcoin の間のアトミックスワップは、各当事者にロックされたアカウントへの払い込みを伴います。CYBEX の場合、それは複数署名のアカウントです。Bitcoin の場合は、スクリプトロックされた UTXO です。Litecoin の創始者である Charlie Lee は、Litecoin を使いアトミックスワップで Bitcoin、Vertcoin、Decred と交換を実演しました。ただし、このタイプのスワップは、同様のスクリプティングシステムと CLTV (Check Lock Time Verify) 機能のサポートを備えた Bitcoin のようなチェーン間でのみ機能します。

CLTV スクリプトでは、ロックタイム窓口は戻し操作のためにセットされます。作成者が参加者の支払いと償還のためのロックタイムを 48 時間設定し、参加者は作成者の償還のためのロックタイムを 24 時間設定します。このタイムロック払い戻しスキームは、他の当事者がスワッププロセスを終了するときに当事者が資金を引き出すことができるというアトミックの完全性を保証します。



しかし、CYBEX には Bitcoin のようなスクリプトシステムがないため、CYBEX では作成者が参加者に支払う CYB をロックするために複数署名アカウントを使用し（作成者は CYB を支払うと仮定します）、参加者が UTXO で作成者に支払う Bitcoin をロックするためスクリプトを使用します。

1 つの欠点は、複数署名方法が回収および戻しプロセスを実施できることであり、CYBEX は取引の完全性を保証するためのデポジットでこれを解決します。



CYBEXとBitcoin間のアトミックスワップ

3.13 動作詳細

CYBEXでアトミックスワップを行うためまず公開鍵と鍵のハッシュをカットする



一組の相互作用を通じて、双方の当事者は、相手方の一時的な公開鍵と、同一の秘密鍵から生み出された高確率で証拠となる鍵のハッシュを持ちます。その後、Bitcoin スクリプトで償還の確認を行うため公開鍵と秘密鍵のハッシュが使用されます。

このようなメカニズムは、完全なピアツーピア方式で異なる暗号通貨（Bitcoin や CYB など）の安全かつ直接的な交換を保証します。しかし、取引相手とのマッチングや流動性は、分散型取引にとって常に課題です。

3.14 流動性の促進

アトミックスワップは、チェーンを通じた信頼性の低い取引の問題のみを解決します。しかし、どのように双方のトレードがもう一方を見つけるのかという問題は解決できません。実際、多くのアトミックスワップが技術的に実証されてきたのは、双方の取引当事者がお互いを知るだけでなく、一部のインスタントメッセージングシステムを通じて常にコミュニケーションを取ってきたことに依存しています。

流動性を促進するために、CYBEX はトレーディングペアのために外部に交換価格を提供し(例えば Bitcoin と CYB、CYB はトークンとして、クラウドセール後に異なる中央型取引所で取引されます)全ての証人ノードに届けられます(価格はチェーンに反映されます)。ユーザーはチェーンに希望価格をオーダーし、その後、証人ノードはこれらのオーダーと自動的にマッチさせます。

エコシステムの初期ブートストラップ期間中、CYBEX は経験豊かなマーケットメイカーやトレーディングボットにインセンティブを与え、流動性を大幅に向上させます。CYBEX のコアチームや他の可能なエコシステムパートナーによって開発、運営されている伝統的なゲートウェイは、高いセキュリティレベルの IOU サービスを提供するため、長期間に渡ってアトミックスワップ機能と共に存していくと思われます。CYBEX はすでに、CYBEX クライアントをカスタマイズされた Bitcoin スクリプトと複数署名、第 2 フェーズでのハードウェアセキュリティをサポートするマルチ暗号化ウォレットに統合するプロジェクトを開発しました。このプロジェクトによってユーザーは、ワンクリックでワンウォレットのスワップをより使いやすくなります。

CYBEX と他の主流暗号通貨とのスワップによって、世界中で採用されている通貨(例えば、米ドル)で価格を維持することができる価格の安定した暗号資産のような新しい金融ツールを生み出すことができます。既存の規制のなかでのトランザクションを便利にすると同時に過剰担保、カウンターパーティのリスクフリー、ブロックチェーンローンによって担保されたスマートコントラクトの機能を持つ Bitcoin のようなルール上の根本的な資産の価値を、追跡することによって達成できます。

3.2 ゲートウェイの暗号資産保管

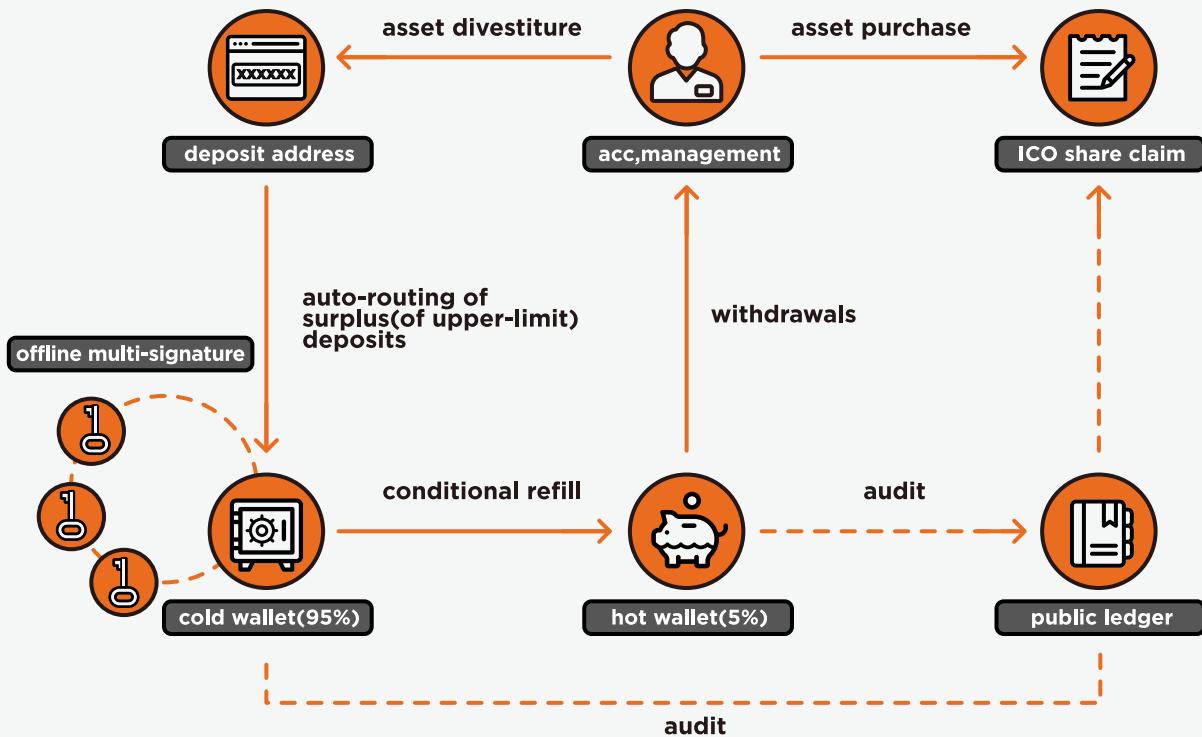
3.2.1 ゲートウェイ

CYBEX ネットワークに資金を入送金する手段として、ゲートウェイをお勧めします。1 つのブロックチェーンに基づく仮想通貨から別のブロックチェーンに基づく仮想通貨への資金移動のプロセスを簡素化します。

ゲートウェイは、基本的に交換のソルベンシーに依存してコインを償還できる標準交換モデルと同等です。一般的に、ゲートウェイは、CYB、APE、APD などのシンボルを資産より前に発行します。これらの資産は、実際の BTC または ETH、または人々がゲートウェイにデポジットする他のコインによって 100% 裏付けられます。

前述したように、CYB.BTC は理論的には Poloniex (かつては POLO.BTC と言われていた) 上の BTC と同等です。いずれの場合も、発行した資産を返済するために、サービスプロバイダに依頼して支払い能力を残しておきます。ゲートウェイは単一のサービスしか提供しませんが、それ自体は交換の全体的なオペレーションの単なる一部ですが、高いセキュリティ性が条件として求められます。

CYBEX は、エコシステムパートナーである Nebula Crypto-Assets の支援で、暗号資産を保有するゲートウェイのための独立した暗号資産管理サービスプロトタイプを持っています。この重要なセキュリティ機能は、ゲートウェイの設定を合理化し、高価値の暗号資産を集中管理するリスクを軽減するのに役立ちます。



3.2.2 ホットウォレット

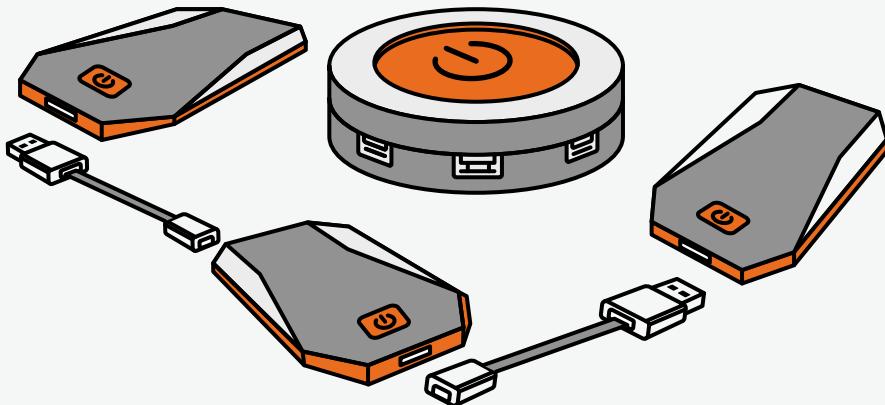
このシステムは、オンラインホットウォレット内で全てのデポジットアドレスと少数の保有分（例えば5%）を維持します。このシステムは、ユーザーがCYBEXのアカウントページに暗号資産をデポジットすると生成され、ユーザーは自動的にホットウォレットから送金されたゲートウェイから資産を引き出すことができます。また、コールドウォレットがセキュリティを最大化するため実行するアウトバウンドトランザクションの数を最小限に抑えるために、流入量、流出量、規模およびホットウォレットバッファのサイズを、時間とともに進化し最適化していきます。

3.2.3 コールドウォレット

ゲートウェイの残りの暗号資産保有量（例えば95%）に対して、CYBEXは、エコシステムパートナーであるNebula Crypto-Assets Custodyによって設計された高セキュリティコールドウォレットソリューションを推奨しています。

Wallet of Crypto-Assets for Gateways

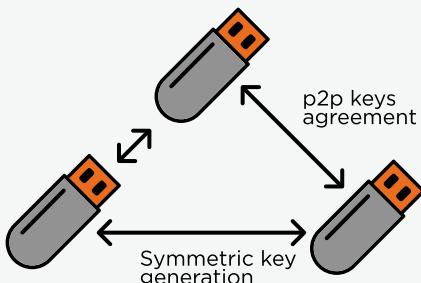
- Offline secret sharing hardware wallet
- What you see is what you sign



マルチ署名スキームは、高価値資産に対して暗号化された安全なソリューションと考えられています。Bitcoin ブロックチェーンは初期段階からステートレススクリプトと共にマルチ署名をサポートします。イーサリアムのコミュニティはこのスキームを実行するためのスマートな契約を作りましたが、スマート契約のセキュリティは、特に、2017 年に重大な脆弱性(パリティなど)が明らかになった後、資産所有者にとって常に懸念事項でした。Monero 等の他のコインは、まだマルチ署名機能をリリースしていません。

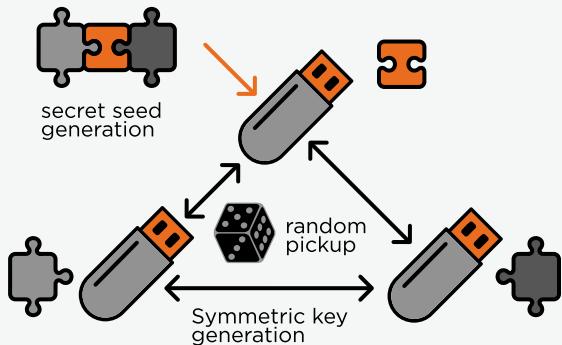
Nebula Crypto-Assets Custody は、秘密共有アルゴリズムを使用してマルチ署名者用の単一署名ソリューションを設計しました。プライベートキー全体がメモリに復元されるというセキュリティ上の問題を解決し、ハードウェアキー内でのみシークレットを共有して回復するために、バンкиングレベルの(見えるもの / 署名するもの)ハードウェアを使用します。

Decentralized Keys Agreement



- Secrets only exist in U-key COS
- Decentralized keys agreement generates communication key
- A random picked U-key for the secret seed generation
- Distribute secret shares into every U-keyy

- True random generator FIP140-2
- Security elements EAL 4+
- 128*64 OLED display
- Support ECDHE and BIP32
- SHA3, AES256, SH256, Secp256k1



共同署名のプロセスは、本人であれ、オンラインであれ、分散した方法で行うことができます。署名プロセス全体のセキュリティは、P2P 通信を保護するためアドホックキー・ホワイトペーパー・アルゴリズムが組み込まれた USB ハブまたはインターネットルーティングがどの程度安全であるかに左右されません。

3.3 分散型クラウドセールプラットフォーム

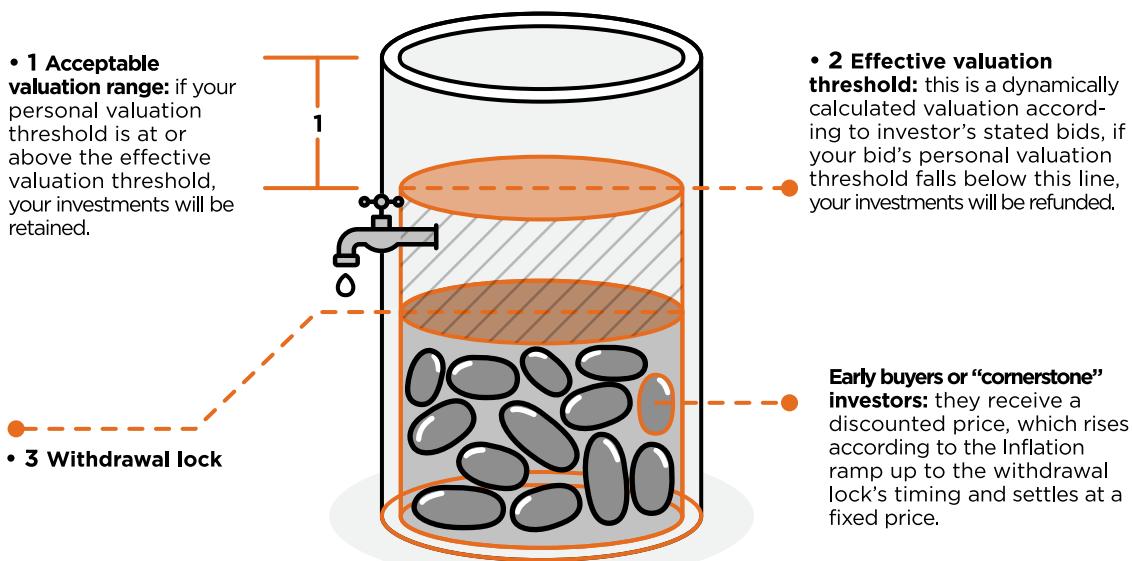
CYBEX は、資産取引するだけでなく、資産を発行し、クラウドセールで資金を調達する場所として初めて作られました。クラウドセールを促進するために、CYBEX は発行者が選択できる契約のテンプレートを提供します。その内のテンプレートの 1 つは、Vitalik Buterin と Jason Teutsch によって提案された「対話型コイン・オファリング」です。この設計の目的は、一般的にクラウドセールのジレンマであるどうトークンを評価するかを解決することです。

CYBEX は、資産取引するだけでなく、資産を発行し、クラウドセールで資金を調達する場所として初めて作られました。クラウドセールを促進するために、CYBEX は発行者が選択できる契約のテンプレートを提供します。その内のテンプレートの 1 つは、Vitalik Buterin と Jason Teutsch によって提案された「対話型コイン・オファリング」です。この設計の目的は、一般的にクラウドセールのジレンマであるどうトークンを評価するかを解決することです。

- ・ 決まった一定の通貨金額で決まった割合のトークンを購入しなければなりません。
- ・ 誰でも参加できるようにしなければなりません。

ある一定の通貨単位で少なくとも p 割合のトークンを購入する場合、総売り上げ収入は $1 / p$ を超えることはできません。

明らかに、どのような固定の評価スキームでも普遍的な参加を保証することはできませんが、各参加者が各評価で希望の購入数量を指定すると、最終的なトークン費用とパーセンテージの比がすべてのバイヤーを満足させられる（評価と参加の両方）クラウドセールのプロトコルを作成すべきです。



提案されたクラウドセールプロトコルには：

- ・ **基本ステップ**：各ブロックエポックで、買い手はトークンを購入するか、またはクラウドセールから資金を自発的に払戻しすることができます。買い手は、参加希望の最大販売評価を指定し、販売額がこの個人的な段階に達した場合、買い手の入札は取り消され、払戻しを受ける。販売下限によって誘発された入札をサポートします。
- ・ **払戻しロック**：一定数のブロック後、任意の払戻しは許可されなくなります。たとえば、30 日間のクラウドセールでは、スマート契約は初め 20 日間自発的な払戻しを許可することができますが、後半 10 日間は自動払戻しのみが許可されます。
- ・ **インフレーション・ランプ**：早期にトークンを購入するバイヤーは、割引価格を享受します。例えば、最大ボーナスは 20%（今日のクラウドセールの一般的な量）。ボーナスは払戻しロックの開始時に 10% にスムーズに減少し、クラウドセール終了時には消滅します。

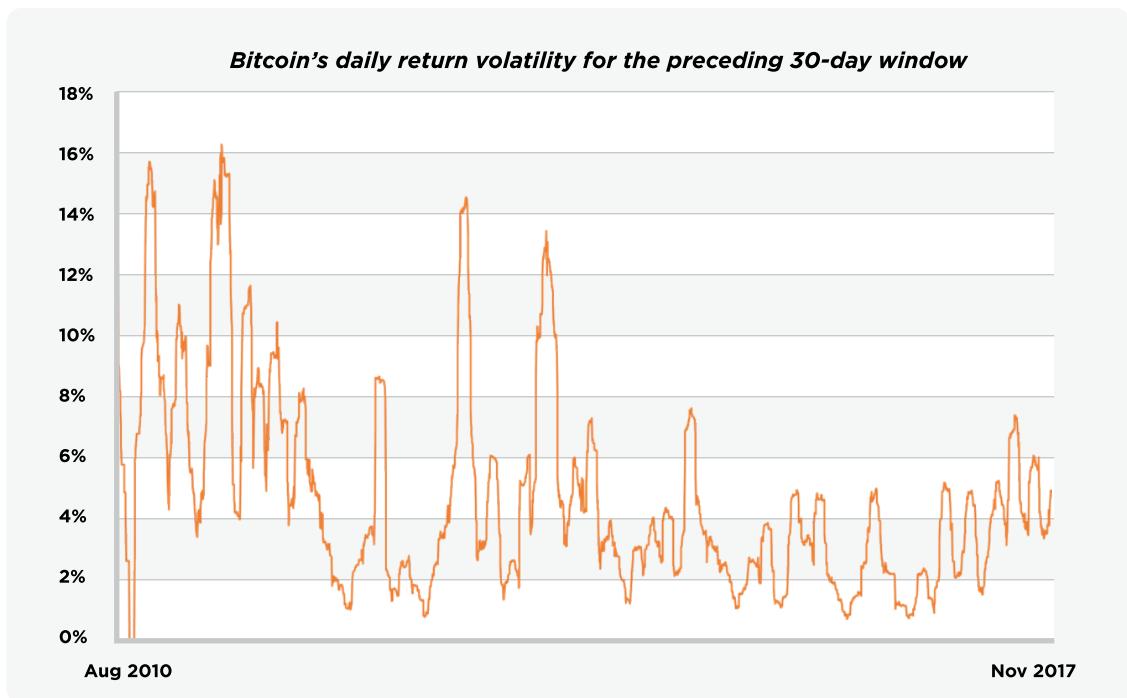
CYBEX でクラウドセール契約を実行するために、開発者はいくつかのオブジェクトを修正しました。ロックアップ属性とスワップオペレーションフィールドによる資産発行はネイティブデータ構造のオブジェクト拡張に追加されます。vesting_balance_object / db_balance と wallet API、list_balances、claim_balances などのロジックが再設計されます。

3.4 價格安定通貨

3.4.1 暗号資産のボラティリティ

資産を保有する主な障害の 1 つは、予測不能なボラティリティです。資産の相対価格が他の一般的に保有されている資産(例えば、米ドルのような基軸通貨)に対して変動するほど、保有するリスクが高くなる。ボラティリティが極めて高い場合、そのような資産は、毎日の商業活動で使用するにはあまりにも危険になります。

比較的新しい資産クラスである暗号通貨は、通常、非デジタルのカウンターパートよりも大幅に変動性を持っています。Bitcoin / USD の価格の変動は、時間の経過と共にゆっくりと低下していますが、まだ 5~6%程度です。Gold / USD 価格や USD / EUR 為替レートといった従来の通貨のボラティリティと比較すると、それらは 0.5%程度しかないことがわかります。



ボラティリティとリスクを軽減する 1 つの方法は、為替相場の中で、米ドルなどのボラティリティの低い資産に固定された価格の安定した資産を持つことです。この資産は、他のすべての暗号資産を評価できる安定した支えとして機能し、資産の各ユニットは常に予測可能リターンをもたらします。

当社は、CYBEX が価格安定通貨を構築することを目指しています。そのような資産は、米ドルのような価格安定通貨と同等に設計された一連の Bitcoin 固定型通貨であり、これを「cyb.USD」と呼びます。以下で説明するのは、価格安定資産の効果をもつ提案です。

そのような通貨の考え方は新しいものではありません。例えば、BitShares は、エコシステムの取引でこのような通貨を持っています。しかし、BitShares エコシステム内の固定型通貨には、2 つの明らかな課題があります。

- ・ペッグされた通貨自体は、流動性の低い暗号資産である BTS によって担保されているので、とても不安定です(したがってペッグの意味がない)。
- ・発行するインセンティブがないため為替ペッグされた通貨量は非常に少ない。

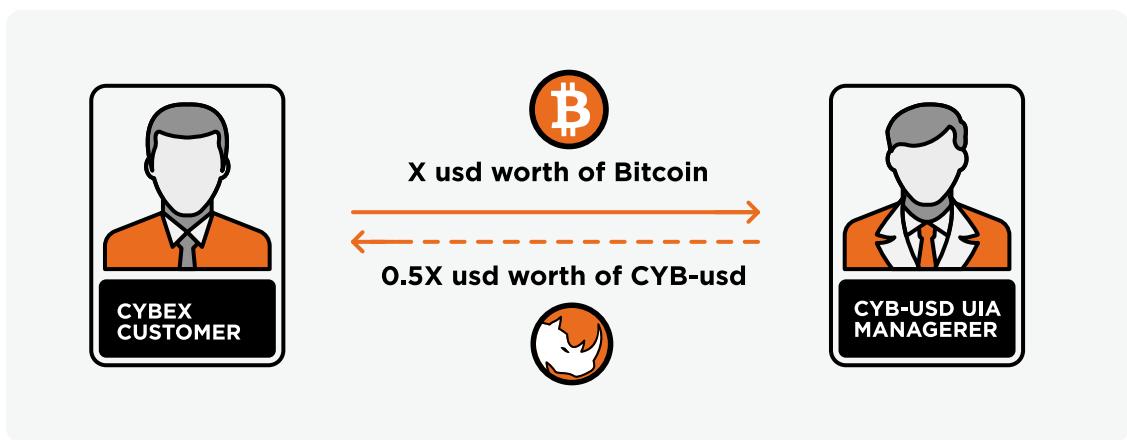
サイベックスの設計では、担保は BTC に基づいており、これは主流であり流動性のある仮想通貨です。当社のビルトイン金利は、BTC 保有者に cyb.USD を発行するためのダイナミックに調整されたインセンティブを与え、BitShares エコシステムが直面する問題を回避します

3.4.2 担保としてのBitcoin

価格安定通貨の背後にあるアイデアは、別の通貨と取引すると、取引比率が固定されるということです。例えば、理想的には、単一の cyb.USD を正確に 1 米ドルで取引できることと考えています。

しかしながら、CYBEX のような暗号化交換において認可通貨を使用する際の、法的および規制上の曖昧さを考えると、cyb.USD は Bitcoin や Ethereum のような、より安定した流動性のある仮想通貨に交換されます。したがって、すべての cyb.USD は、正確に 1 米ドル相当の BTC に取引できる必要があります。この執筆時点では、1 BTC は 9080 USD で取引されています。つまり、BTC の 0.00011 単位に対して 1 cyb.USD が取引されることを意味します。

cyb.USD と BTC を一貫して取引できるようにしたい場合は、BTC の総量が足りているかどうかことを確認する必要があります。すなわち、cyb.USD を発行(販売)している人は、相当量の BTC を担保として持つ必要があります。BTC と USD の価格はかなり変動していると私たちは言ったことを覚えているでしょうか?このタイプのボラティリティから守るために、cyb.USD の発行者は発行されたすべての cyb.USD をカバーする Bitcoins を別途用意する必要があります。2 倍でも良いでしょう。たとえば、1 単位の cyb.USD を発行するには、(0.00011 単位の BTC、1 米ドル相当)、そのボラティリティをカバーするために 2 倍または 0.00022 単位の BTC(2 米ドルに相当)が必要です。



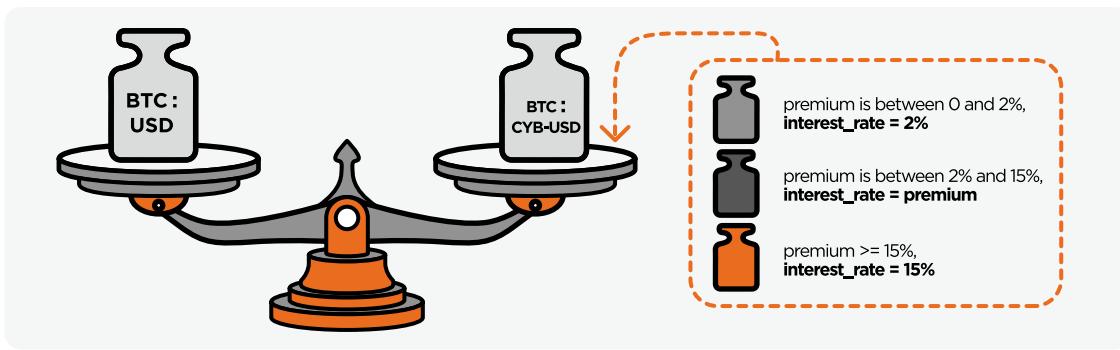
3.4.3 インタレストインセンティブ

cyb.USD を持っている人は、とても素晴らしいことに聞こえますが、誰が発行したいのですか?彼らには何のメリットがありますか?

それは利息です。発行された cyb.USD のすべてのユニットについて、資産の所有者は、資産の発行者に金利を支払う必要があります。市場のボラティリティに対するクッションとして、この大きなプールを提供している人に支払った手数料と考えてください。

CYBEX は自由市場型の分散型取引所であるため、1 つの cyb.USD が正確に 1 米ドル相当の BTC に変換されることは必ずしも保証されません。このような状況が発生した場合、CYBEX は需要と供給のバランスを取るために、発行者が多かれ少なかれ cyb.USD を発行する適切なインセンティブを与えられるように、金利を調整します。

たとえば、cyb.USD の需要が上昇している場合、1 cyb.USD は 1 米ドル相当の BTC で取引されることを意味します。このような状況が発生した場合、金利を引き上げることによって、その比率を 1 対 1 の取引比率に戻すために cyb.USD の供給を増やしたいと考えています。逆の場合、金利を引き下げて供給を減らすと考えております。



最初、金利は次のように計算されます。

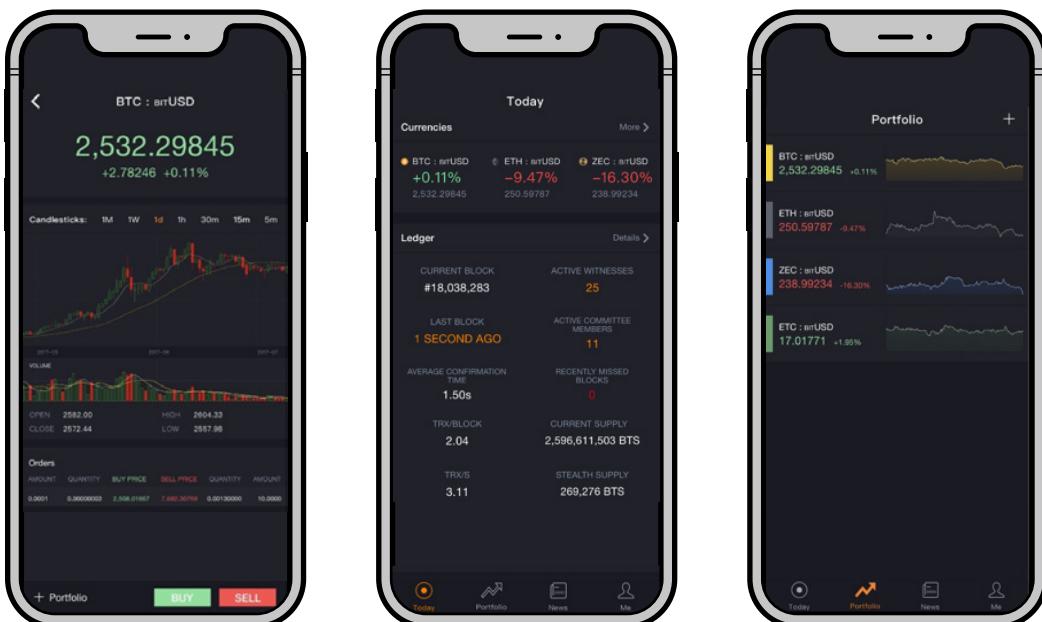
- b_{cyb} = CYBEX の 1cyb.USD で取引された BTC の数
- b_{market} = 主要取引所のコレクションで 1 米ドルで取引されている BTC の数
- $premium = (b_{cyb} - b_{market}) / b_{market}$
- 金利の設定 :
 - o (プレミアム < 0 の場合)、 $interest_rate = 0\%$
 - o (プレミアムが 0~2% の場合)、 $interest_rate = 2\%$
 - o (プレミアムが 2%~15% の場合)、 $interest_rate = premium$
 - o (プレミアム >= 15% 場合)、 $interest_rate = 15\%$

最初の2%は、発行者側がきっかけとなるアクションをするための入口の値として設定されています。人々は固定された値をより理解しがちであり、行動を起こす可能性が高くなります。また、資産保有者が潜在的に無限の金利が継続的に上昇すると不安を感じないように、金利上限を15%に設定します。

システムは、CYBEX で過去8時間の平均プレミアムに基づいて金利を自動的に計算し、その後、8時間の終わりにすべてのcyb.USD保有および発行のスナップショットを取ります。8時間に1回、cyb.USDの口座の保有者は利息を控除され(cyb.USDはより少なくなります)、発行者の口座はcyb.USDのデポジットを全く同じ金額で受け取ります。すべての控除およびデポジットは、cyb.USDの保有および発行のスナップショットに比例して行われます。

3.5 モバイルユーザーインターフェース

ユーザー エクスペリエンスは、あらゆる取引にとって重要な成功要因です。私たちは、ユーザーは取引ができる、新しくユーザーが定義した資産を発行し、タイムリーな情報を受け取り、将来的には価格安定性のある通貨(cyb.USDなど)で支払いを行うためにモバイルおよびネットインターフェスを作ります。



3.6 ビジネス開発

取引を成功させる上で不可欠な機能は、仮想通貨保有者にとって信頼ある取引所であることです。前述の通り、CYBEX チームになる前に、私たちは ICOAGE チームであり、中国市場で成功した 40 以上の ICO の立ち上げに携わり、6 カ月以内に合計 170 百万米ドルを集めました。こちらは私たちが携わったプロジェクトのリストは下記の通りです。しかし、中国における ICO 禁止令の後に、投資資金を全て投資家に返還しました。

PROJECT NAME	ICO DURATION
InkChain	2017/8/15 20:00 - 2017/8/16 4:00
CYBEX	2017/7/26 20:00 - 2017/7/26 21:00
Starbase	2017/8/21 10:00 - 2017/8/21 13:00
Indorse	2017/8/29 - 2017/9/3
IPFS	2017/8/3 3:00 - 2017/8/5 14:00
Aeternity	2017/5/29 21:00 - 2017/6/9 21:00
Moed	2017/8/14 14:00 - 2017/8/14 15:00
Hellogold	2017/8/27 14:00 - 2017/8/28 12:00
Encryptotel	2017/4/24 - 2017/5/31
Exscudo	2017/4/25 9:56 - 2017/5/8 18:42
Adel	2017/5/1 - 2017/5/31 23:59
inchain	2017/5/10 - 2017/5/11 10:00
IEX.EC	2017/4/19 - 2017/4/20
Qtum	2017/3/16 - 2017/3/21
WeTrust	2017/3/2 - 2017/4/12
Yoyow	2017/5/21 21:00 - 2017/5/26 21:00
Bitfid	2017/5/12 16:05-2017/5/31 17:54
Storj	2017/5/19 11:00 - 2017/5/25
MobileGo	2017/4/25 10:00 -2017/5/23 19:40
Tenx	2017/6/24 21:00 - 2017/6/24 21:07
Omisego	2017/6/24 13:00 - 2017/6/25 13:00
EOS	2017/6/25 21:00 - 2017/7/2 12:04
Status	2017/6/20 23:30 - 2017/6/21 23:30
Poet	2017/8/8 20:00 - 2017/8/9 10:08
Energo	2017/7/25 18:00 - 2017/7/31 11:50
Genaro	2017/8/15 14:00 - 2017/8/15 14:10
Vechain	2017/8/12 12:00 - 2017/8/12 12:10
Delphy	2017/8/16 18:00 - 2017/8/17 14:00
Primas	2017/8/7 20:00 - 2017/8/14 19:30
Tierion	2017/7/27 21:00 - 2017/7/28 20:00
Gnosis	2017/4/24 - 2017/4/25
Aragon	2017/5/17 - 2017/5/18
Creativechain	2017/4/30 18:21 - 2017/4/30 22:00
TAAS	2017/3/27 - 2017/4/27
KyberNetwork	2017/9/15-2017/9/17

これは、私たちのチームが優れたプロジェクトチームを惹きつけているだけでなく、アドバイザリーや資金調達の面で価値あるサービスを提供することができるとの証拠です。我々は CYBEX の運営に同じリソースと能力を持ち込みます。

3.7 メインストリートのビジネスをトークン化する

現在のブロックチェーンプロジェクトに CYBEX でトークンを取引することを納得させるだけではなく、メインストリートビジネスセクターとも積極的に協業し、現在の(通常は集中型の)ビジネスモデルを分散型ビジネスモデルにトークン化していくことをサポートします。

ブロックチェーンが有効なエコシステムは、まだかなりの技術的障壁を持つ比較的新しいモデルであるため、ほとんどの既存ビジネスは明白にその潜在的価値を理解していません。私たちのチームは技術者だけでなく、ビジネス関係者や投資専門家もそろえており、人脈や専門知識を活用してブロックチェーンのビジネスポテンシャルを伝え、既存ビジネスが次のステップを踏み出すことを支援します。

・ **タレントトークン**：アーティストが自分の IP を簡単に管理し、視聴者とつながり、マネジャーなど仲介者の必要性を最小限に抑えることができます。現在私たちは、この分野の潮流を変えるため、日本最大のアーティストエージェンシーおよび音楽配信会社と連携し、歌手、漫画家、俳優など 20 万人を超える人々を CYBEX エコシステム内の分散型モデルに移行させます。

・ **Adspace Token**：収益の大部分を占める中央集中型プラットフォームを排除することで、コンテンツ作成者と広告主を直接結びつけるのに役立ちます。私たちは、日本最大の広告代理店の 1 社と連携して、コンテンツ制作者の毎年 1 億 3,100 万ドル以上ある広告収入インベントリを分散型エクスチェンジに移しています。このエクスチェンジでは、取引が完了した後に広告をコンテンツに動的に埋め込むことができます。

・ **キックスタートトークン**：日本のクラウドファンディングプラットフォームと連携し、CYBEX とネイティブに互換性のあるクラウドファンディングエコシステムの構築を支援しています。このトークンには、中央集中型プラットフォームを必要とせずに、資金をリリースする前にクラウドファンディングの条件が実際に満たされていることを確認するためのエスクローと投票メカニズムがあります。

CYBEX では、ブロックチェーンの革命が本当にその潜在能力を発揮し、分散型のプロミスを果たすためには、より多くの「メインストリート」のビジネスセクター（非技術者が容易に理解できるビジネス）にエコシステムを持ち込む必要があり、それらを「トークン化」することです。

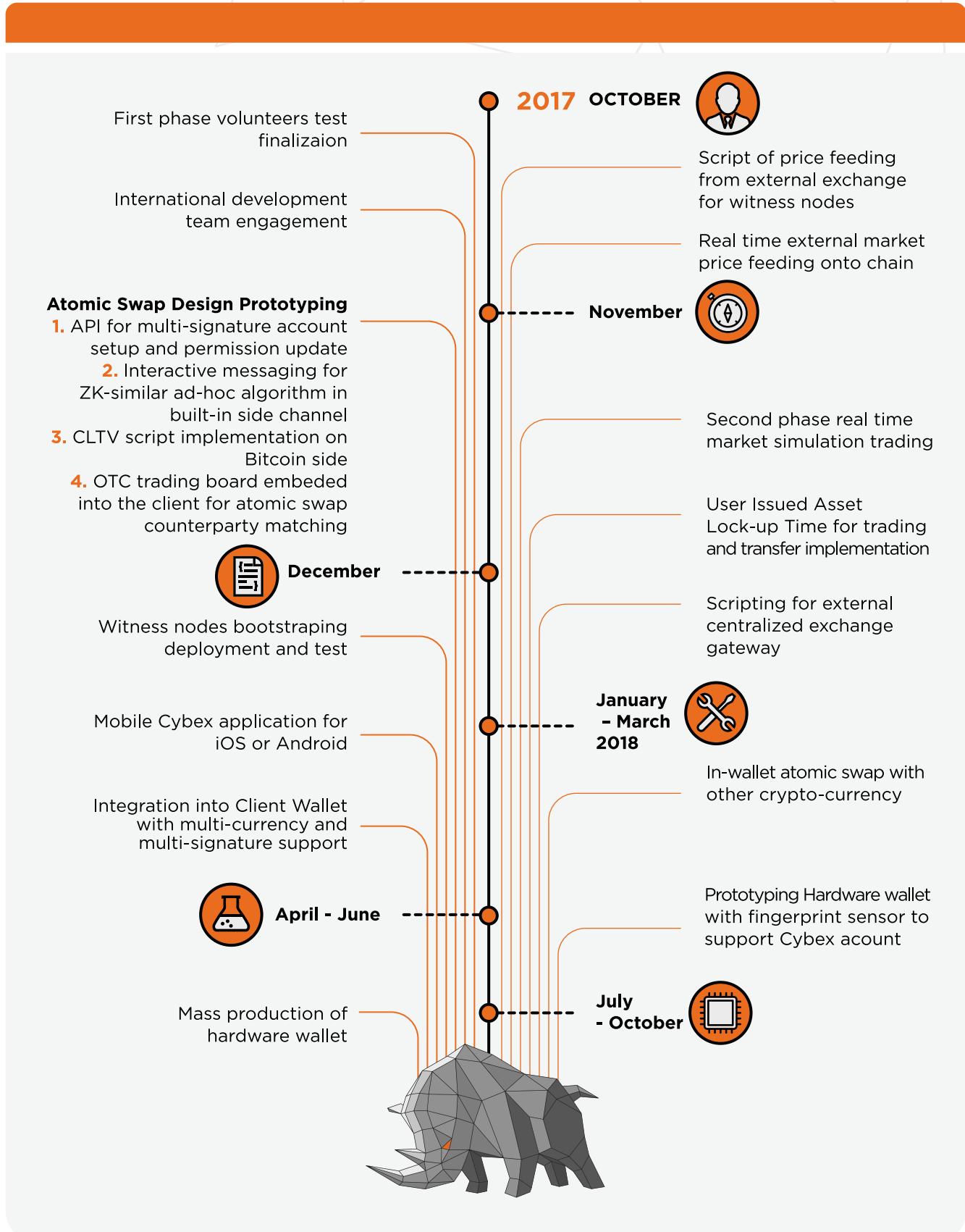
新しいビジネスセクターをトークン化するために私たちと一緒に取り組んでいるパートナーの多くは、集中型プラットフォームであります。

我々は、これらのプラットフォームの巨大な力を、重要なリソースを分散型のエコシステムを構築するために活用し、効果的に既存ビジネスから分散型ビジネスエコシステムに移行します。

現在パイプラインにはもっと多くのプロジェクトがあり、私たちはコミュニティに対し情報を随時更新し、新しいトークンと全ての当事者を開示していく予定です。

4. DEVELOPMENT ROADMAP

開発ロードマップ



5. THE CYBEX TEAM CYBEXチーム

5.1 コアチーム



JAMES GONG

ICOAGE (かつて中国最大の ICO プラットフォーム) と ChainB(中国最大のブロックチェーンメディア) の創始者。ジェームスは、2012 年から中国のブロックチェーン産業のリーダーとなり、暗号通貨の伝播と KOL でもありました。彼は膨大なる数のブロックチェーン関連記事やホワイトペーパーの中国語への翻訳に貢献しました。("The Blockchain Society"、" ブロックチェーン - ニューエコノミーの設計図 "、" 暗号通貨 ")

MILYUTIN

the 8760 の共同創始者、London、Great Britain、マーケティングエキスパート、Growth Master The 8760、London、Great Britain。以下の ICO を閉鎖するのに成功しました : Populous、AI Gang、Crypto20。全体で 80,000,000 US\$ 以上の資金を調達。UX Consultant、Growth Hacker in Evoplay、キエフ、ウクライナ。ロシア、モスクワの Yandex の内部プロジェクト Holibody の CEO 兼プロダクトマネージャー



JIANBO WANG

元 ETFDirector、Deutsche Bank Asia での China Risk trading、ETF の VP および Citigroup Asia の Equity derivatives trading、Credit Suisse の Equity derivatives proprietary trading VP。Jianbo は、世界の金融市場やデリバティブ取引に精通しており、ETF やその他の革新的な金融商品について深い理解があります。彼は 2003 年と 2005 年にスタンフォード大学の電気工学部で B.S. および M.S. を取得しました。

STEVEN PU

Steven は、連続起業家で戦略コンサルタントでもあり、Fortune 100 クライアントに対して 10 年以上のアドバイザーと戦略的変革の経験があります。彼は Monitor-Deloitte Consulting の associate director を務めました。LinkSens (IoT メッシュネットワーク)、EviPath (医師の医療事例交換と議論のためのソーシャルネットワーク)、Master He (オンコールマッサージサービスアプリ) を共同設立しました。彼は 2004 年と 2005 年にスタンフォード大学の電気工学部で B.S. および M.S. を取得しました。



5.2 顧問

ASH HAN

Ash Han は、Cosmos の共同設立者であり、"Blockchains のインターネット" のビジョンを持つブロックチェーン技術プロジェクトをリードしている、韓国最大の Blockchain / DLT コンサルティング会社である Finector は 300 以上の行政機関、銀行、金融機関などが加入しており、700 人以上の個人も加入しています。彼は、ブロックチェーンの経済と技術を深く理解しているエンジェル投資家、アドバイザー、コミュニティオーガナイザー、著者、パブリックスピーカーとして 2012 年以来ブロックチェーン業界に貢献してきました。



DAVID LEE

シンガポール Xin Yue 大学の教授。ロンドン政治経済学校、計量経済学と数理経済学 Ph.D. アジア REITS 業界のパイオニアとして、ヘッジファンド会社を設立しました。シンガポールに上場している 2 つの企業の独立取締役でもあり、2 つの慈善団体とシンガポール経済研究所の投資委員会と取締役に同時に就任しています。以前はオルタナティブアセットマネジメント協会(シンガポール支店)の副会長を務めていました。

TANIYA MAMORU

Taniya- さんは、fixed-income derivatives、プライベートエクイティ、ベンチャーキャピタルを含む幅広い投資経験があります。かつてはサロモン・ブラザーズのアジアヘッドであり、チューダー・キャピタル・ジャパン、アスカ・アセット・マネジメント、ストーム・ハーバーなど多くのファンドを共同設立しました。また、東京都知事(市長)の小池百合子氏の顧問を務め、東京の Blockchain アクセラレータ Blockchain Business Camp Tokyo の主要設計者の 1 人です。1987 年に東京大学の法学部で B.A. を取得。



CHRIS DAI

Chris には、幅広いビジネス管理と投資経験があります。中国と日本のクロスボーダー投資ファンドである Leland Capital の共同創設者兼 CEO。以前は COO / CIO Yixing SCM (ロジスティクス・プロバイダー)、Accenture のコンサルタント、複数のベンチャー企業の共同設立者でした。クリスは、中国の Bitcoin と Ethereum の早期の投資家の一人で、2013 年から仮想通貨投資に関わっていました。彼は 2004 年にスタンフォード大学で管理と科学工学の B.A. を取得。



BUDORIN DYMTRIO

Hacken の共同創始者、ホワイトハットハッカーのために設計したバグパウンティマーケットのプログラム。Budorin がデロイト監査部門のエグゼクティブマネージャー、彼が手掛けたビッグデータ SAP ソリューションを通じてデロイトの独立国家連合体 (CIS) 監査挑戦コンテストで優勝した。ウクライナ政府の 2014 年に大規模改革後、Budorin はウクライナ軍及び国防産業内のリーダー的な企業家となった。



6. RISKS

リスク

仮想通貨は、比較的新しいアセットクラスであり、その中の投資に関する多数のリスクがあります。潜在的な投資家は、これらのリスクを認識し、それぞれのリスク許容度に応じて投資を行う必要があります。

続くセクションでは、シンガポールの法律で正式に設立された法人 Cybex System がこれまで「売り手」と呼ばれています。CYBへの投資を行っている個人または機関は「購入者」と呼ばれています。

a) 不十分な情報の可用性

CYBEX は、このホワイトペーパーの発表段階で開発段階であり、その哲学、コンセンサスの仕組み、アルゴリズム、コード、その他の技術仕様やパラメータは頻繁に更新、変更されることがあります。このホワイトペーパーには CYBEX の特定の情報が含まれていますが、完全なものではなく、売り手が特定の目的のために隨時変更や修正を行うことがあります。売り手は、購入者に CYBEX 開発のすべての詳細（予定どおりかどうかにかかわらず、進行状況や予想マイルストーンを含む）を緊密に掲示しておくことができないため、隨時発生する CYBEX のに連する情報を購入者に適時かつ完全にアクセスさせる必要はありません。この CYBEX に関するすべての情報開示の不足は不可避かつ妥当である。

b) 規制措置

暗号トーカンは、様々な管轄の規制当局によって監督されているか、または監督される可能性があります。売り手は、時折、1つ以上の規制当局からの問い合わせ、通知、警告、要求または裁定を受けることがあります。また、CYBEX の開発や CYB に関連した取引全ての中止または中止を命じられることさえあります。CYBEX またはクラウドセールの開発、マーケティング、プロモーションなどは、結果として深刻な影響を受けたり、妨げられたり、終了することができます。さらに規制当局の方針は時々変更される可能性があるため、CYBEX または管轄区域内の Crowd-Sale に関する既存の規制許可または適用性は一時的なもの可能性もあります。CYB は、バーチャル商品、デジタル資産、または様々な管轄地域の証券または通貨として定義することができ、したがって、地元の規制要件に従って特定の管轄区域で取引または保有することを禁止されることがあります。

c) 暗号技術

暗号技術は進化しており、常に安全ということは保証できません。コードクラッキングなどの暗号技術の進歩や、量子コンピュータの開発などの技術的進歩は、CYBEX を含むすべての暗号ベースのシステムにリスクをもたらす可能性があります。これは、誰かが保持する CYB の盗難、紛失、失踪、破壊、または評価減少につながる可能性があります。妥当な範囲で、売り手は、暗号の進歩に対応して CYBEX の基礎となるプロトコルを更新し、追加の合理的なセキュリティ手段を組込むために率先し改善策を準備します。暗号化またはセキュリティ革新の未来は予測不可能ですが、売り手は暗号化およびセキュリティの分野における継続的な変更に対応するために最善を尽くします。

d) 開発の失敗または中絶

CYBEX は完成品ではなく、まだ開発中です。CYBEX システムの技術的な複雑さに起因して、売り手は予期せぬ、そして、または克服できない難題に直面する可能性があります。したがって、CYBEX の発展は、何らかの原因（資金不足を含む）のため失敗するか、中断する可能性があります。開発の失敗または中断により、CYB トーカンが使用不能になります。

e) クラウドセール収入の盗難

売り手が受け取ったクラウドセール収入（そこから換算された一般通貨額を含む）を盗まれる可能性があります。このような盗難や盗難を試みる行為は、CYBEX の開発に資金を提供する売り手に影響を与える可能性があります。売り手は、クラウドセール収入を安全に保つために最先端の技術的解決策を採用するが、特定のサイバー盗難は防げない可能性があります。

f) ソースコードの欠陥

誰も CYBEX のソースコードに欠陥がないことを保証できません。特定の欠陥、エラー、不具合、バグなどが含まれている可能性があります。ユーザーの一部の機能が無効になったり、ユーザーの情報が漏洩したりする可能性があります。そのような欠陥があれば、CYBEX のユーザビリティ、安定性、および、またはセキュリティを損なう可能性があり、結果的に CYB の価値に悪影響を及ぼします。オープンソースのコードは、コミュニティ内での識別とコード内の問題の解決を促進するために透明性に依存しています。売り手は CYBEX コミュニティと緊密に協力して、CYBEX のソースコードを改善、最適化、完成させます。

g) 無許可、分散型および自主型元帳

現在のブロックチェーンプロジェクトの中で採用されている 3 つの普及しているカテゴリの分散型元帳、すなわち無許可元帳、コンソーシアム元帳、プライベート元帳があります。CYBEX の分散型元帳は、無許可元帳であり、公にアクセス可能で、誰でも無許可で利用できることを意味します。CYBEX は当初売り手によって開発されたものだが、売り手によって所有、運営、管理されていません。自発的に結成され、開放され、分権化され、無許可で参加する CYBEX のコミュニティは、ユーザー、ファン、開発者、CYB 保有者、および世界中の売り手と全く関係のない他の参加者で構成されています。そのようなコミュニティは分散化され、CYBEX のメンテナンス、ガバナンス、さらに CYBEX の進化に対して自動的になります。一方、売り手がコミュニティ仲間の中で最高権力や恣意的な権力ではなくに単にアクティブプレイヤーになります、CYBEX 初期の努力と貢献に関係ありません。その結果、売り手によって CYBEX がローンチ後どのように管理されるか、進化するコントロールはありません。

h) ソースコードの更新

CYBEX のソースコードは公開されており、CYBEX コミュニティのメンバーによって時折更新、改訂、修正または変更される可能性があります。誰も更新、修正、変更または修正の正確な結果を想定または保証することはできません。結果として、更新、修正、変更または修正は、予期しないまたは意図しない結果をもたらし、CYBEX の運営または CYB の価値に悪影響を及ぼす可能性があります。

i) セキュリティの弱点

CYBEX のブロックチェーンは、オープンソースソフトウェアに依存しており、無許可の分散型元帳です。CYBEX システムを安全に保つための売り手の努力にかかわらず、誰でも意図的または意図せず CYBEX のコアインフラストラクチャー要素に弱点やバグを導入して、売り手が採用したセキュリティ対策では防止、補償できない可能性があります。その結果、購入者が保持する CYB またはその他のデジタルトークンが失われる可能性があります。

j) 分散型サービス拒否攻撃

CYBEX は公開されており、許可されていないため、時折、「サービス拒否攻撃」のサイバー攻撃を受け可能性があります。このような攻撃は、CYBEX システムのネットワークを停滯または麻痺させ、その取引を遅延させて CYBEX ブロックチェーンのブロックの記録や追加を遅らせたり、一時的に操作できなくしたりすることさえあります。

k) 処理能力の不足

サイベックスの急速な成長には、トランザクション数の増加と処理能力の需要が伴います。もし処理能力の需要が CYBEX のブロックチェーンネットワークのノードが提供する量を超えると、CYBEX のネットワークが不安定になり、停滞し、「二重支出」などの不正取引や取引失敗が発生する可能性があります。最悪の場合のシナリオでは、購入者が保持する CYB が失われ、CYBEX のブロックチェーンのロールバックまたはハードフォークが引き起こされる可能性があります。これらのすべての余波は、CYBEX の有用性、安定性、安全性、CYB の価値に害を及ぼします。

l) CYB トークンの不正請求

購入者のパスワードを解読または分解して購入者の登録済み E メールまたは登録アカウントにアクセスすると、不正な CYB トークンを要求することができます。このように、CYB トークンは、購入者の登録済み E メールまたは登録済みのアカウントを通じて、誤って要求者に送付される可能性があります。送付は取消し可返送できません。購入者は、(i) 安全性の高いパスワードを使用する、(ii) 詐欺メールの開封または返事を控える。(iii) 秘密情報または個人情報を全て厳密に管理にしておく、等の対策で登録 E メールアドレスと登録アカウントを安全に保つべきです。

m) CYB ウォレットのプライベートキー

CYB にアクセスするために必要なプライベートキーの紛失または破壊は不可逆的です。CYB は、ローカルまたはオンラインの CYB ウォレットを通じて、関連する固有のパブリックキーとプライベートキーの両方を所有することによってのみコントロールできます。購入者は、自分の CYB ウォレットに含まれているプライベートキーを保護する必要があります。購入者のこのようなプライベートキーが紛失、漏洩、破壊、または他の方法で侵害された場合、売り手も他の誰も購入者の関連する CYB へのアクセスや検索を助けることができません。

n) フォーク

CYBEX は、売り手から開始され、コミュニティによってサポートされるオープンソースプロジェクトです。CYBEX のコミュニティにはおそらく売り手が影響を与えますが、CYBEX の開発、マーケティング、運営などを独占することはできません。誰でも事前の承認なしに CYBEX のソースコードのパッチまたはアップグレードを開発することができます。CYBEX のブロックチェーンの証人の一部による CYBEX パッチまたはアップグレードの承認は、そのブロックチェーンに「フォーク」をもたらす可能性があり、その結果、2 つの分岐ネットワークが現れ、フォークされたブロックチェーンがマージされるか、一方が消滅するまで存続する（それぞれのケースは決して起こり得ない）。分岐から生じる CYBEX ブロックチェーンの各ブランチには独自の暗号トークンがあり、それぞれ 2 種類の CYB が 2 つの同じ技術的特徴と機能を持つブランチになる。したがって、CYBEX コミュニティは、2 つのブランチをそれぞれサポートする 2 つのグループに分けられます。さらに、フォークされた CYBEX ブロックチェーンの各ブランチは、理論上無制限にフォークすることができます。フォークされたブロックチェーンの一時的または永続的な存在は、CYBEX の運用と CYB の価値に悪影響を及ぼし、最悪の場合は CYBEX システムの持続可能性を損なう可能性があります。CYBEX ブロックチェーンのようなフォークは、2 つの別々のブランチをマージするというコミュニティ主導の努力によって解決される可能性がありますが、成功は保証されず、達成には時間がかかります。

o) インフレ

起動時の特定の基本的な CYBEX プロトコルに従い、CYB の総量は時間の経過と共にわずかに増加する可能性があり、パッチまたは CYBEX ソースコードのアップグレードの結果としてさらに増加する可能性があります。その結果、CYB 供給のインフレは市場価格の低下につながり、その結果 CYB 保有者（購入者を含む）は経済的損失を被る可能性があります。CYB の購入者または保有者が CYB のインフレのために何らかの形で補償されるという保証はありません。

p) 他のブロックチェーンとの合併

技術的な観点からは、特定の状況で CYBEX と他のブロックチェーンプロジェクトがシナジーを追求しや、他の価値ある検討事項のために統合する可能性があります。そのような合併により、CYBEX のブロックチェーンは、特定のコンバージョン率で統合前の CYB 保有者に割り当てられ、新たに作られる別のブロックチェーンの暗号トークンの一定量と引き換えに放棄され、時代遅れになるでしょう。CYB 保有者は、特定の評価モデルのように、そのような合併で未補償となる可能性がある。

q) 人気

CYB の価値は、CYBEX システムの流行に大きく依存しています。CYBEX は、発売後すぐに普及したり、広く利用されたりすることは期待されていません。最悪のシナリオは、CYBEX がユーザーのごく一部にしか魅力的ではなく、長期的に疎外され続けるかもしれないということです。対照的に、CYB 需要のかなりの部分は投機的な性質のものである可能性があることです。ユーザーの不足は、CYB 市場価格のボラティリティの増大をもたらし、その結果、CYBEX の長期的な発展を損なう可能性があります。売り手は、CYB の市場価格を安定化させたり、価格に影響を与えたりしない（また責任もない）。

r) 流動性

CYB は、個人、団体、中央銀行、国家、超国家または準国家機関によって発行された通貨でもなく、硬質資産またはその他の信用によって裏付けされていません。市場での CYB の流通と取引は、売り手が責任をもったり追求したりするものではありません。CYB の取引は、単に関連する市場参加者間のその価値に関するコンセンサスに左右されます。誰も CYB 保有者から CYB を償還または購入する義務はありません。また、CYB の流動性や市場価格はいかなる時でも保証されません。彼 / 彼女の CYB を売却するためには、CYB 保有者は、相互に合意した価格で購入する 1 人以上の自主的なバイヤーを見つけなければならず、コストや時間がかかり、必ずしも成果を上げることはできません。さらに、暗号通貨交換または他の CYB を取引する市場は存在しない可能性がある。

s) 価格変動

暗号化トークンは、公開市場で取引される場合、通常、価格が極端に変動します。短期間での価格の変動は頻繁に発生します。価格は、Bitcoin、Ether、米ドルまたはその他の金銭の通貨で表示されます。このような変動は、市場の力（投機を含む）、規制変更、技術革新、取引所の可能性およびその他の客観的要因に起因し、需要と供給のバランスの変化を表しています。売り手は、市場があるかどうかに関わらず、CYB の任意のセカンダリマーケット取引について責任を負いません。したがって、売り手は CYB の価格変動を掌握することも、それを気にする義務もありません。CYB 取引価格に関連するリスクは、CYB トレーダー自身が負うべきです。

t) 競争

CYBEX の基礎となるプロトコルは、ソースコードの著作権またはその他の種類の知的財産権を主張する人がいないオープンソースのコンピュータソフトウェアに基づいています。その結果、競合するプロトコル、ソフトウェア、システム、スマート契約または売り手のコントロール外のバーチャルプラットフォームまたはバーチャルマシンを開発するために、誰でも合法的に CYBEX のソースコードおよび / または基本プロトコルをコピー、複製、再生、エンジニアリング、変更、アップグレード、改良、再製作することができ、結果的に CYBEX と競合、もしくは CYBEX を凌駕することができます。さらに、CYBEX と競合する様々なブロックチェーンベースのプラットフォーム(BitShares など)があり、今後も存在すると言われています。売り手はいかなる時も、CYBEX との競争または追い越そうとする競合の努力を排除、防止、制限、または最小限に抑えることはできません。

u) 第三者開発者

CYBEX は、サードパーティ(特に CYBEX コミュニティのメンバー)によって開発されたあらゆる種類の外部アプリケーションに対応するためのアプリケーションインターフェイスを提供します。このような外部アプリケーションは、検閲、制限、管理、事前承認、または入会条件なくサイベックスのブロックチェーンを利用するすることができます。売り手は、CYBEX システムを開発したり、接続したりするためのアプリケーションに対して、精査する意思をもつことも、行動することもできません。したがって、ギャンブル、賭け、宝くじ、賭博、ポルノなどのような特定の管轄区域で禁止または制限されているプログラムは成長、プロモーション、市場化またはオペレーションのためサイベックスのブロックチェーンの運営の非許可性を利用する可能性があります。特定の管轄区域の規制当局は、そのプログラムまたは開発者またはそのユーザーに対しても、行政上または司法上の措置を講じることができます。政府当局によってなされるいかなる罰則、制裁、拘束またはその他の規制策は、既存または潜在的なユーザーが CYBEX の使用および CYB の保有から遠ざける可能性があり、結果的に CYBEX の見通しに重大な悪影響をもたらす。

v) 移行

CYBEX はまず、独自の取引元帳として独立した基礎ブロックチェーンを持ちます。しかし、CYBEX は、より効率的に CYBEX 上で実行されるトランザクションをホストするために、1 つ以上の他の分散プラットフォームに移行されることがある。そのような移行の場合、既存の CYB はすべて、移行後の CYBEX に組み込まれるような類似もしくは同等の技術仕様および機能を備えた新しい暗号トークンに変換されます。移行前に使用されていた CYBEX の元のブロックチェーンは、消え去る可能性があります。

W) その他の暗号資産

CYBEX 上で作成または生成され、循環されるさまざまな暗号資産が存在します。そのような暗号資産の一部は、保有者に対する一定のコミットまたは義務を負う特定の人物によって発行される可能性がある。CYBEX 内のスマートな契約によって、他の暗号資産が作成される可能性があります。そのような暗号資産には、CYB と同じまたは類似の機能はありません。これらの暗号資産は、売り手によって売却または提供されることも、売り手が特別に指示しない限り、売り手がそれらに対して責任を負うことかもしれません。

